

貸借対照表

平成27年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位：千円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	56,063	【流動負債】	51,756
現金及び預金	22,120	買掛金	13,867
売掛金	19,093	未払金	21,536
短期貸付金	15,000	未払法人税等	16,352
未収入金	39	【固定負債】	61,788
貸倒引当金	-190	長期借入金	11,788
【固定資産】	95,814	社債	50,000
【有形固定資産】	1,954	負債の部合計	113,545
車両運搬具	1,640	純 資 産 の 部	
工具器具備品	313	【株主資本】	38,332
【投資その他の資産】	93,859	資本金	9,000
差入保証金	12	資本剰余金	1,000
長期前払費用	51	資本準備金	1,000
子会社株式	93,796	利益剰余金	28,332
		その他利益剰余金	28,332
		繰越利益剰余金	28,332
		(うち当期純利益金額)	28,332
		純資産の部合計	38,332
資産の部合計	151,877	負債及び純資産合計	151,877

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式については、移動平均法による原価法によっております。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

引当金の計上基準

貸倒引当金については、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。